

令和 7 年度

教育委員会事務の点検・評価

令和 8 年 9 月

川 北 町 教 育 委 員 会

1 教育委員会事務の点検・評価について

(1) 趣 旨

効果的な教育行政の推進を目的に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成20年度から、毎年、教育委員会の権限に属する事務の執行状況について、学識経験者の知見を活用し、点検・評価を行い、その結果を取りまとめ議会に提出するとともに、公表することとなりました。

川北町教育委員会は法の趣旨に則り、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、住民から信頼される教育行政の推進を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)
(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)
第26条1 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

(2) 対象年度

令和7年度に実施した教育委員会主管の主要な事務事業を点検・評価の対象とします。

(3) 実施方法

- ① 教育委員会が事務局となり、活動事項と教育長に委任する事務事項に区分整理し、点検・評価し今後の課題についてまとめました。
- ② 評価は、A（達成）、B（概ね達成）、C（未達成）とし、状況に応じて「+」（やや上位評価に近い）や「-」（やや下位評価に近い）を使用する。
- ③ 教育長に委任する事項については、教育委員会事務局各課の主要事務事業を、川北町教育振興基本計画に基づき、個々に自己点検・評価するとともに、今後の課題を提起しました。尚、『令和7年度 川北町の教育』もご参照ください。
- ③ 上記により取りまとめた評価シートを項目ごとに客観的視点を確保するために学識経験者として、川北町の教育行政にご理解ある次の方々に依頼し、ご意見をいただきました。また、ご意見をいただいた内容につきましては、今後の川北町教育委員会活動の参考にさせていただきたいと考えております。

学 識 経 験 者	公 職 等
笹谷 真理子	令和8年度 川北町小中学校長会 会長
寅若 雄一	令和8年度 川北町社会教育委員会 委員長
湊 香寿美	令和8年度 川北町PTA連合会 会長

2 教育委員会会議及び活動状況

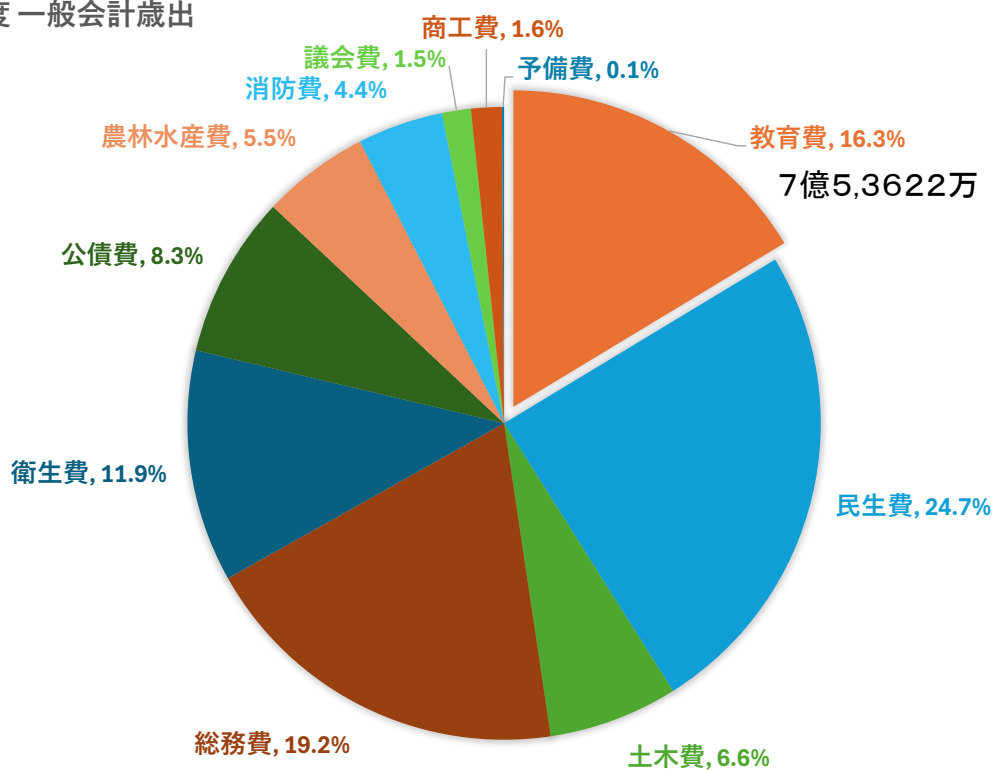
(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項

川北町教育委員会は「川北町教育委員会会議規則」第3条の規定に基づき、以下のよう
に12回の定例会を開催いたしました。また「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に規定される職務権限及び「川北町教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき審議しました。

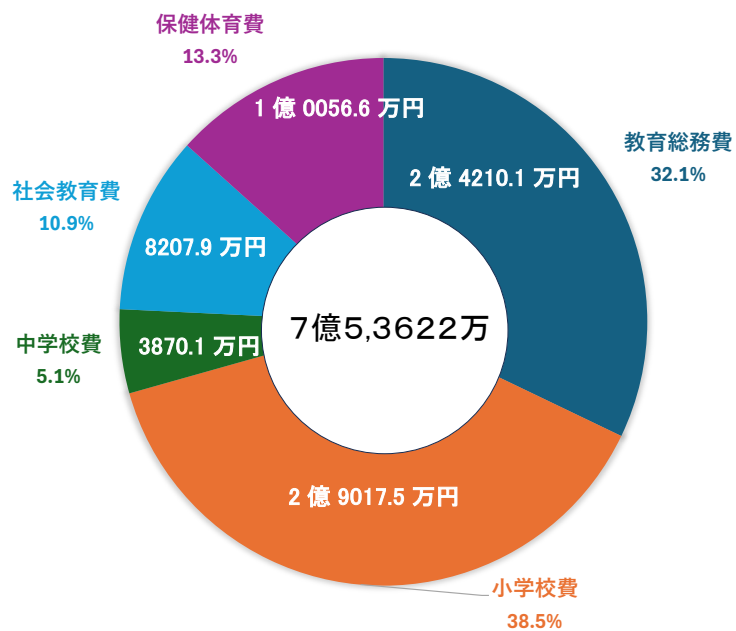
開催日	会名	内容
1月11日(土)	二十歳のつどい	
1月17日(金)	第1回定例会	当面の諸問題について
2月13日(木)	立志式	
	第2回定例会	当面の諸問題について 私立高校出願状況
3月14日(金)	中学校卒業式	
3月18日(火)	小学校卒業式(教育委員会祝辞)	
	第3回定例会	当面の諸問題について 令和7年度予算について 公立高校出願状況
4月4日(金)	教職員辞令交付式	
4月7日(月)	第4回定例会	川北町教育目標及び基本方針について 当面の諸問題について
	小・中学校入学式	
5月9日(金)	第5回定例会	当面の諸問題について 令和6年度児童生徒就学支援について
5月9日(金)	県教育委員会連合会総会	
6月24日(火)	川北小学校計画訪問	
	第6回定例会	当面の諸問題について
7月3日(木)	橘小学校計画訪問	
7月11日(金)	川北中学校計画訪問	
	第7回定例会	当面の諸問題について
7月17日(木)	川北町PTA教育懇談会	
8月18日(月)	第8回定例会	当面の諸問題について
9月25日(木)	中島小学校計画訪問	
	第9回定例会	当面の諸問題について
10月17日(金)	第10回定例会	当面の諸問題について
11月28日(金)	第11回定例会	当面の諸問題について
	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会(研究発表)	
12月3日(水)	学校予算ヒアリング	
12月18日(木)	第12回定例会	当面の諸問題について
3月24日(火)	臨時会	公立高校出願状況、等 令和7年度 川北町総合教育会議

3 令和7年度 教育委員会 当初予算

7年度一般会計歳出



令和7年度 教育費歳出内訳



4 川北町教育振興基本計画に基づく令和7年度重点事項の状況と評価

基本理念	めざす人間像	基本目標	施策の方針		
キラリと輝く魅力的な人づくり	<div>自立的な人間</div> <div>人生に対する希望と生きがい を追求する自律的な人間</div>	1. “ふるさと川北”を愛する、キラリと輝く魅力的な人材の育成をめざす	1-1 ふるさとに対する誇りと愛着の醸成	1 地域教材の活用を図るとともに、文化や風土、産業などを生かしたふるさと教育の推進を図る。 2 伝統や文化等に触れる機会の充実を図る。	
	創造的意欲に満ちた人間	2. 幅が広く、厚みのある「確かな学力」の向上をめざす	2-1 確かな学力の育成	1 いしかわ学びの指針 1 2 か条プラスの推進を図る。 2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。 3 ICT 等情報機器を活用し、個別最適で協働的な学びの質の向上を図る。 4 発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。	
			2-2 新しい時代に求められる資質・能力を育む教育の推進	1 コミュニケーション能力や円滑な人間関係を築く力を育む。 2 情報活用能力、問題発見・解決能力等、求められる資質や能力の育成を図る。 3 発達段階に応じた主権者教育の推進を図る。 4 持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた学習内容の充実に努める。 5 探究・STEAM 教育の充実を図る。 6 外国語教育や国際理解・国際交流の充実を図る。	
			2-3 一人ひとりに応じた教育の推進	1 教育・就学相談を通じ関係機関との連携を図り、特別支援教育の充実を図る。 2 今日的な新たな課題に対応する教育相談体制の確立を図る。	
			3-1 心の教育の充実	1 学校の教育活動全体を通じ人権意識の向上を図る。 2 道徳教育を中心に、心の教育の充実を図る。 3 集団での取組を生かし、特別活動の充実を図る。 4 地域と連携する等、豊かな体験活動・交流活動の工夫と充実を図る。	
				3-2 いじめ・不登校等への取組の充実	1 積極的な生徒指導を生かし、いじめ・不登校等の未然防止を図る 2 校内の相談体制や支援体制を生かした指導体制の充実を図る。 3 町福祉課、児相や警察等、関係機関との連携を図る。
				3-3 たくましい心身を育む教育の推進	1 健康増進と体力、運動能力の向上に取り組む。 2 命の教育・性教育・薬物乱用防止教育、食育等の推進を図る。 3 地域の特色を生かした体験活動や交流活動の充実を図る。（手取川プラン） 4 読書活動の充実を図る。 5 全ての教育活動を通じ、子どもたちのウェルビーイングの向上を図る。
	実践力のある人間	4. 社会の進展に対応した、信頼され魅力ある学校づくりをめざす	4-1 教職員研修の充実	1 キャリアステージに応じた資質・能力を高める研修の充実を図る。 2 ICT を活用した指導力の向上を図る。 3 小中を連携した研修を充実させ、授業改善や情報の共有を図る。	
			4-2 地域に開かれた学校運営の推進	1 コミュニティ・スクール（CS）における活動を推進する。 2 明日の子どもを育てる町民会議 並びに CS 推進協議会による地域学校協働活動を推進する。	
			4-3 安全で安心な教育環境の整備と充実	1 学校施設の整備と学校安全の推進を図る。 2 ICT 環境の継続的な整備と充実を図る。 3 地域と協力した安全な環境づくりに努める。 4 教職員の多忙化改善の推進を図る。 5 家庭教育への支援の充実を図る。	
	広い視野に立って郷土を愛する人間	5. 生涯学習体制の確立と社会教育の推進をめざす	5-1 生涯学習体制の確立と社会教育の推進	1 各種講座、学級等の開設と内容の充実に努める。 2 自治公民館活動や社会教育団体の活動の支援と充実を図る。 3 文化団体や自主サークル活動等の支援と充実を図る。 4 学習等供用施設、文化センター等の社会教育施設の効果的な活用を図る。 5 明日の子どもを育てる町民会議 及び CS 推進協議会と連携を図り、体験・交流活動の充実を図る。	
			6-1 スポーツ及び健康づくり活動の推進	1 川北町健康づくり推進条例の推進と町民参加の行事の充実に努める。 2 スポーツ推進委員による生涯スポーツの振興を図る。	
			6-2 スポーツ団体の活動の推進	1 町スポーツ協会やジュニアスポーツクラブの活動を支援し、競技力の向上や指導者の育成を図る。 2 部活動の地域移行に向けたスポーツ環境の整備と機会の確保に努める。	
			6-3 スポーツ諸施設の整備と開放	1 学校体育施設や社会体育施設の利用促進を図るとともに、適正な管理を図る。	

基本目標1	“ふるさと川北”を愛する、キラリと輝く魅力的な人材の育成をめざす
-------	----------------------------------

川北町総合戦略

施策Ⅱ—④ 町内外における活発な交流の促進
「川北まつりと連動した地区伝統行事の継承及び関係人口の創出」

1-1	ふるさとに対する誇りと愛着の醸成
1	地域教材の活用を図るとともに、文化や風土、産業などを生かしたふるさと教育の推進を図る。
2	伝統や文化等に触れる機会の充実を図る。

【R7年度当初予算】

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 1-1-1 | ・奨学金返還支援事業(9.1.2) |
| | ・カワラナデシコ苗購入費(9.4.2) |
| 1-1-2 | ・公民館活動助成金(9.4.2) |
| | ・子ども会育成活動、小学校野外体験学習活動助成金(9.4.2) |
| | ・文化財保護審議委員報酬(9.4.2) |
| | ・手取川プラン実施費（青少年講座、いきいき体験教室）(9.4.2) |

【R7年度の状況】

1-1-1 について

- 各学校の総合的な学習の時間において、「産業」「伝統・文化」「環境」「福祉」「町づくり」等のテーマを設定し、地域の先生をゲストティーチャーとして招いての授業や、フィールドワークを行った。
- 青少年講座やいきいき体験学習においても、川北町の自然環境を生かした講座が行われた。



中島小「柿の収穫」



橘小「麦畑見学」



川北小「お米探検隊」

【評価及び課題】 評価 B

1-1-1、2 について

- どの学校においても総合的な学習の時間を通じて、地域教材の活用を図るとともに、文化や風土、産業などを学ぶ、ふるさと教育を推進している。
- 教科での学びに関連付け地域学習が系統的に実施されているが、小中連携した体系づくりが必要である。

基本目標2	幅が広く、厚みのある「確かな学力」の向上をめざす
-------	--------------------------

川北町総合戦略

施策Ⅰ—③ 川北らしい特色ある教育の実践 「確かな学力の育成(Society5.0に向けた人材の育成)」 「社会に必要な資質・能力を育む教育の推進」 「一人一人の個に応じた特別支援教育の充実」	
施策Ⅱ—③ 町内外における活発な交流の促進 「人材育成基金の有効活用(中学生国際交流の翼など)」	

2-1	確かな学力の育成
1	いしかわ学びの指針12か条プラスの推進を図る。
2	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
3	ICT等情報機器を活用し、個別最適で協働的な学びの質の向上を図る。
4	発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。

【R7年度当初予算】

2-1-1, 2, 3	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフト使用料(9.1.2) ・町学校教育研究会助成(9.1.2)
2-1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校職場体験事業助成金(9.1.2) ・中学校就職進学対策助成金(9.1.2) ・キャリアパスポート(9.1.2)

【R7年度の状況】

2-1-2 について

- 教育委員会として、各校へ「学びの構想」を示し、「児童生徒観」「教材観」「指導観」を大切にした授業づくりを提案した。
- 町学校教育研究会 第2回全体会(8月8日)において、東京学芸大学教職員大学院准教授 増田 謙太郎氏をお招きし、「学びのユニバーサルデザインと個別最適な学び」と題した研修会を開催した。



2-1-3 について

- クロムブックや電子黒板を利用した授業が定着している。児童生徒も、道具として当たり前に利用する状況がある。
- 令和7年度 全国学習上調査結果より、ICTの利活用についての児童生徒質問の結果。

5年生まで(中2年生まで)の授業でPCをどの程度利用したか				
	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上
小6	29%(24%)	40%(45%)	26%(21%)	5%(10%)
中3	36%(44%)	35%(37%)	20%(19%)	9%(0%)

自分のペースで理解し学習をすすめることができる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
小6	33%(23%)	61%(61%)	4%(13%)	2%(3%)

分からないことがあったらすぐ調べることができる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
小 6	61%(46%)	31%(45%)	6%(9%)	2%(0%)

楽しみながら学習を進めることができる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
小 6	53%(39%)	42%(50%)	3%(9%)	2%(2%)

画像や動画、音声などを活用することで、学習内容がよく分かる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
小 6	45%(43%)	45%(45%)	8%(10%)	2%(2%)

自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
小 6	38%(22%)	47%(60%)	14%(18%)	1%(0%)

友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
小 6	52%(33%)	36%(51%)	12%(16%)	0%(0%)

友達と協力しながら学習を進めることができる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
小 6	55%(37%)	36%(55%)	9%(8%)	0%(0%)

PC で文章が作成できる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
中 3	39%	55%	6%	0%

インターネットを使い情報収集ができる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
中 3	46%	48%	6%	0%

PC を使い情報を整理することができる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
中 3	26%	54%	19%	1%

PC を使い学校のプレゼンテーションを作ることができる				
	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
中 3	42%	48%	7%	3%

2-1-4 について

- ゲストティーチャーを招いて等、各校キャリア教育の様子。



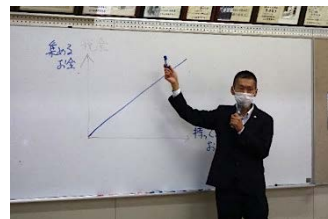
橘小 6 年生 防災学習



川北小 3 年生 道徳



中島小 6 年生 和紙づくり



川北中 3 年生 租税教室

【評価及び課題】 評価 B

2-1-2、3 について

- 児童生徒アンケートの結果を見ると、ICT 機器の利用の効果は現れている。
- 英語ソフト（スピーキングソフト）は、はじめて英語を担当する先生方にとって利用場面の設定が難しく、必要性を含めた検証が必要である。

2-1-4 について

- 各校において、ゲストティーチャーを招いてのキャリア教育が実践されていることは評価できる。一方で、何を学ぶのかという視点や、小中学校にまたがる系統的な教育計画が必要である。

2-2	新しい時代に求められる資質・能力を育む教育の推進
1	コミュニケーション能力や円滑な人間関係を築く力を育む。
2	情報活用能力、問題発見・解決能力等、求められる資質や能力の育成を図る。
3	発達段階に応じた主権者教育の推進を図る。
4	持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた学習内容の充実に努める。
5	探究・STEAM 教育の充実に努める。
6	外国語教育や国際理解・国際交流の充実に努める。

【R7 年度当初予算】

2-2-4

・加賀地区中学生意見発表大会負担金(9.4.2)

2-2-5

・エネルギー教育教材機器費 (9.2.2 9.3.2)

・理科支援員報酬(9.1.2)

2-2-6

・オンラインスピーキングトレーニング (OST) (9.1.2)

・スピーキングクエスト(9.1.2)

・英語 4 技能テスト (GTEC) 中 2 対象 (9.1.2)

・JET プログラム会費(9.1.2)

・小学校外国語助手報酬 (9.1.2)

・川北町中学生国際交流の翼(9.4.1)

・ジャパントレント受入助成金(9.4.2)

【R7 年度の状況】

2-2-1 について

- 各校、縦割り活動等の行事において自覚と責任を育むとともに、コミュニケーション力の育成に努め、良好な人間関係の構築に努めた。

2-2-2 について

- 2-1-3 のアンケート結果が示すように、情報を収集し、それを用いたプレゼンの作成等の技術については、小中学生ともについてきている。一方で、調べ学習的な学習活動の域を出ていない。

2-2-3 について

- 中学校では社会科に関連し、実際の投票箱を利用し役員選挙投票を行っている。

2-2-4 について

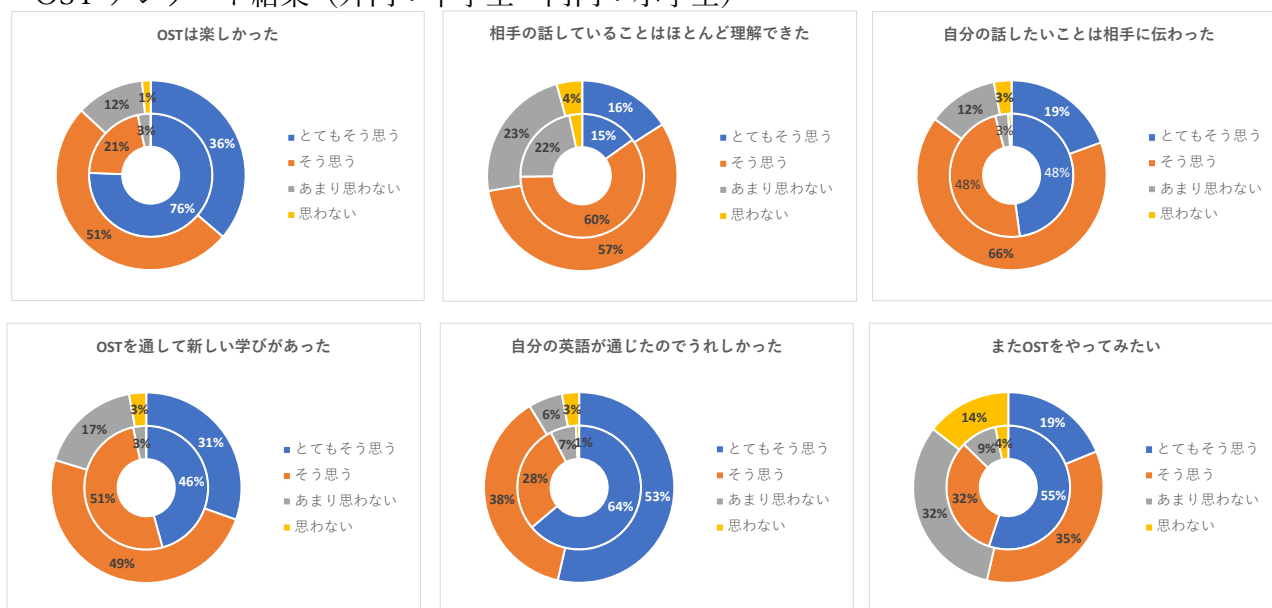
- 3 小学校 5, 6 年生が、日本海開発の南さんを講師として迎え、「川北の未来を考える～5・6 年生 SDG's 学習～」を行った。南さんからは、プラスチックゴミが増えることによる生態系や人類への影響についてのお話があり、その後、自分たちの地域や学校の大切な「もの」や「こと」を、ずっと将来にまで残していくための課題や解決方法をグループに分かれて話し合った。



2-2-6 について

- 小学校 5 年生は年 1 回、6 年生は年 2 回グループで、中学校は全学年で年 1 回、1 対 1 の O S T が実施された。

OST アンケート結果（外円：中学生 内円：小学生）



自分の英語が通じてうれしかった				
	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない
小学生	40%	43%	16%	1%
中学生	52%	41%	6%	1%

OST は楽しかった				
	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない
小学生	38%	45%	14%	3%
中学生	47%	42%	10%	1%

(参考) R6 年度アンケート結果

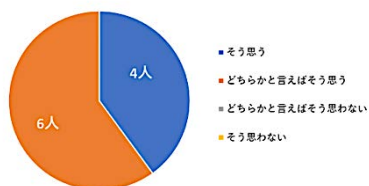
- 小谷内 課参事を団長として、国際交流の翼が8月6日より7泊9日で実施され、中学生10名がニュージーランドを訪問した。今回は、6名が2人1組、4名は1人ずつホームステイを受け入れていただいた。

《日程》

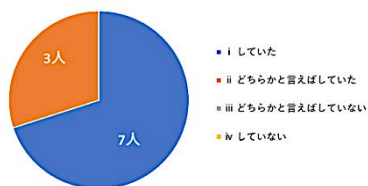
- 1日目 川北町－小松空港－羽田空港－成田空港－オークランド
- 2日目 オークランド－パーマストンノース
ホームステイ家族との対面式後、ホームステイに入る
- 3日目 アワタプカレッジ訪問・交流
- 4日目～5日目 ホームステイプログラム、ホームステイ家族とのお別れ会
- 6日目 IPU 訪問、パーマストンノース市長表敬訪問、市内散策
- 7日目 パーマストンノース－オークランド オークランド視察
- 8日目 オークランド－成田空港－羽田（泊）
- 9日目 羽田空港－小松空港－川北町



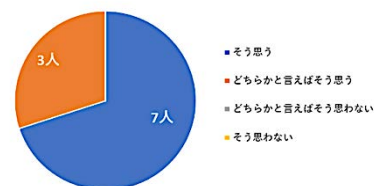
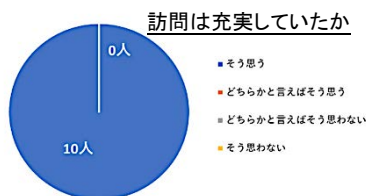
コミュニケーションに自信がついたか



ホームステイは充実していたか



アワタプカレッジでは交流を深められたか



- 4月19日（土）～21日（月）にかけ、アワタプカレッジの生徒19名と引率者3名が川北町を訪れた。町内13家族に2泊のホームステイ受入に協力していただいた。20日（日）は受け入れ家族による計画で1日を過ごしたが、書道体験や区民あげての餅つき大会に参加するなど、日本文化に触れる充実した一日となった。また、川北中学校では授業体験や生徒会企画の集会に参加するなど、交流を図った。今後について、2年に一度、来町する希望が伝えられた。



- 第38回 ジャパンテント 世界留学生交流・いしかわ2025が8月21日から24日の4日間で開催され、川北町へはバングラデシュ、イタリア、ベトナムの3カ国3名の留学生が訪れ、2組のホストファミリーがホームステイを受け入れた。川北では、紙すき体験、和菓子づくり、茶道体験、和太鼓体験などを行った。



【評価及び課題】 評価 A

2-2-1 について

- 今後とも小学校の縦割り活動や中学校での行事、部活動における人間関係づくりは大切に進めていきたい。また、中学校もCSとなり、地域の方々とのつながりも期待したい。

2-2-2 について

- 小中の系統性や、調べ学習と見栄えの良いプレゼン発表ではなく、引き続き探究的な時間となるよう見直しを進める必要がある。

2-2-4 について

- 例えば節電など、そのことの必要性を学びながら、学校生活や家庭での実践につなげる学びが必要である。

2-2-6 について

- OSTは業者選定が難しく、中学校は継続するが、小学校についてはALTの活用などで次年度は対応したい。
- ニュージーランドへの中学生派遣事業は、国際理解・国際交流の実践として、大変価値のある事業であり、帰国後、参加した生徒はその経験を自信に変え、リーダーとして学

校生活を送った。一方、同じ年度内に受入と派遣が続くことには検討の余地がある。

- ジャパンテントは、留学生にとってもホームステイ受入家族にとっても、国際理解・交流を深める、充実した時間となった。続けて受け入れ家族を希望する方もおり、貴重な時間を過ごしていることが感じられる。

2-3	一人ひとりに応じた教育の推進
1	教育・就学相談を通じ関係機関との連携を図り、特別支援教育の充実を図る。
2	今日的な新たな課題に対応する教育相談体制の確立を図る。

【R7年度当初予算】

2-3-1

- ・特別支援教育就学奨励費(9.2.2 9.3.2)
- ・就学援助費(9.2.2 9.3.2)
- ・特別支援学級消耗品費(9.2.2 9.3.2)
- ・特別支援学級図書費(9.2.2)
- ・特別支援学級教材用器具費(9.2.2)
- ・特別支援学級一般器具費(9.2.2)
- ・特別支援教育支援員報酬(9.1.2)
- ・学校教育アドバイザー(9.1.2)

2-3-2

【R7年度の状況】

2-3-1 について

- 各校において専門相談員（特別支援学校教員）を依頼し、必要な支援等についてのアドバイスをもらった。例年通り、町、県主催の就学に向けた相談会を開催した。
- 町福祉課と連携を密にし、対応を協議するとともに、教育支援委員会への職員の参加を要請した。
- 各校に配置された県費SCによる、保護者への相談を行った。

2-3-2 について

- 学校教育アドバイザーを任用し、様々な教育的な相談体制の強化を図るとともに、教育委員会へのタイムリーな学校情報の提供をもとに、学校と対応を協議することができた。

【評価及び課題】 **評価 A**

2-3-1 について

- 支援が必要な児童生徒が増えつつあり、福祉課と情報共有や対応の連携は、今後も大変重要である。
- 学校教育アドバイザーからの情報は貴重であり、課題対応については、後手に回らない対応を協議することができる。
- 通級指導を希望する児童が増加傾向にあり、通級開設の維持も含め大きな課題である。

基本目標3	「豊かな心」を育み、「すこやかな体」の育成と体力の増進をめざす
-------	---------------------------------

川北町総合戦略

施策Ⅰ—③ 川北らしい特色ある教育の実践
「地域と協働した教育活動の推進」
「学校における食育の推進」
「学校外活動の充実」
「学校図書の充実」

3-1	心の教育の充実
1	学校の教育活動全体を通じ人権意識の向上を図る。
2	道徳教育を中心に、心の教育の充実を図る。
3	集団での取組を生かし、特別活動の充実を図る。
4	地域と連携する等、豊かな体験活動・交流活動の工夫と充実を図る。

【R7年度当初予算】

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 3-1-1 | ・中学校人権教育助成金(9.4.2) |
| 3-1-2,3 | ・体験し感動する教育推進事業助成金（4校）(9.1.2) |
| | ・いしかわ道徳推進事業補助金（川北小学校）(9.1.2) |
| | ・スクールシアター等開催助成金（小学校）(9.4.2) |
| | ・特色ある学校づくり推進事業交付金（4校）(9.1.2) |
| | ・子ども会育成活動、小学校野外活動助成金(9.4.2)【再掲】 |
| 3-1-4 | ・まちの先生謝礼（4校）(9.4.2) |
| | ・修学旅行費補助金（4校）(9.2.2 9.3.2) |
| | ・学校実習田農機具借上料（小学校）(9.2.1) |

【R7年度の状況】

3-1-1について

- 各校において人権週間に合わせた取組が行われた。
- ・ 川北小学校では、「身近な人たちへの人権」「平和な世界で平和に暮らしていく人権」と題した、人権擁護委員さんによる読み聞かせを行った。また、人権集会では、環境委員会からは「人権の花」の取組についてや「ストップいじめの標語」の優秀作品の紹介があり、いじめをしないように呼びかけた。



- ・ 中島小学校では、人権集会で児童会から「心のかがやき収穫祭」の取組について提案があった。みなさんの「かがやき」があつという間に集まり、メッセージは、放送でも紹介された。



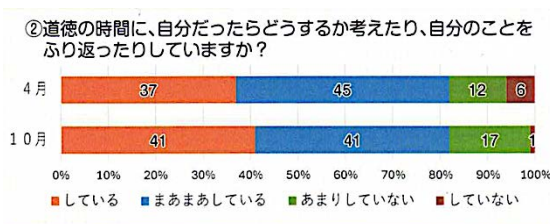
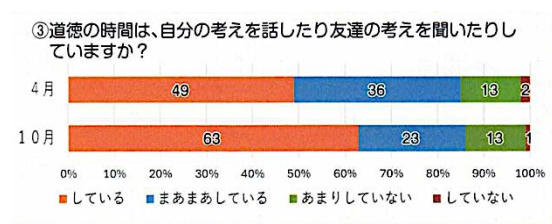
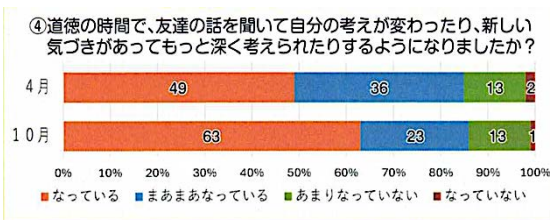
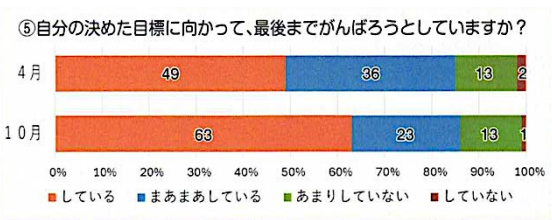
- ・橘小学校では、図書室前に相手との関わりを考える掲示物や本の紹介をした。
- 4・5・6年生は、スクールカウンセラーの中川先生から、「自分も相手にもやさしくする作戦を考えよう」というテーマでの授業を行った。



3-1-2 について

- 川北小学校において「令和7年度いしかわ道徳教育推進事業研究発表会」が行われた。当日は3クラスで公開授業が行われた後、全体会において、演題「自分事として捉え、対話を通して学びを深める道徳の授業づくり」と題し、岐阜聖徳学園大学 教授 山田貞二氏による講演が行われた。

<児童アンケート>



3-1-2 について

- 川北町小学校3校合同で、「劇団角笛」さんの影絵を鑑賞した。
- 4年生の時に学習した「ごんぎつね」光と影の面白さを体感し、「影と遊ぼう」音楽と色鮮やかな影絵で展開された「つのぶえのうた」を楽しんだ。

声や動きの工夫で、人形が本当に生きているように感じ、子どもたちは見入っていた。



3-1-3 について

- 今年度も縦割り活動を生かし、工夫された運動会（スポーツフェスティバル）が行われた。



3-1-4 について

- 中島小学校では学校公開日に合わせ、学校運営協議会主催のマルシェを行った。



- 橘小学校では、ウクレレ奏者ののっしいさんを迎え、図書館コンサートが行われた。



- 中島小学校4年生は、東京パラリンピック銀メダリストの田中選手をお招きして、ボッチャ競技について学びました。（パラスポーツ体験型授業「あすチャレ！スクール」
主催：日本財団パラスポーツサポートセンター）



- 「新嘗祭」に向け、川北小学校の児童が参加し、御田植式、抜穂式がおこなわれた。



中島、橘小学校では実習田を利用し、体験を通じた社会科の学習が行われた。



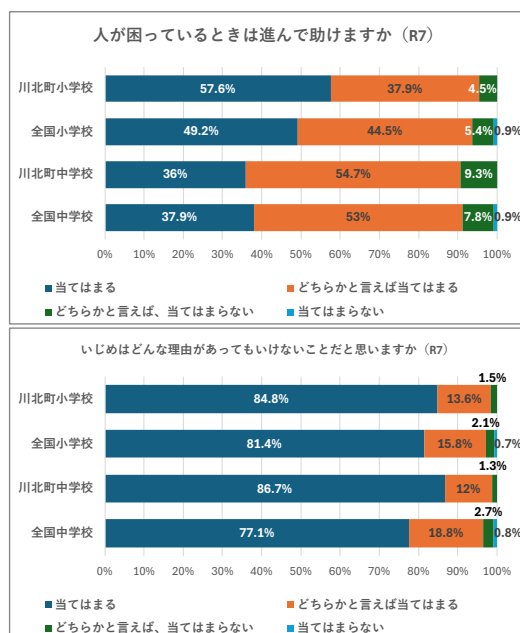
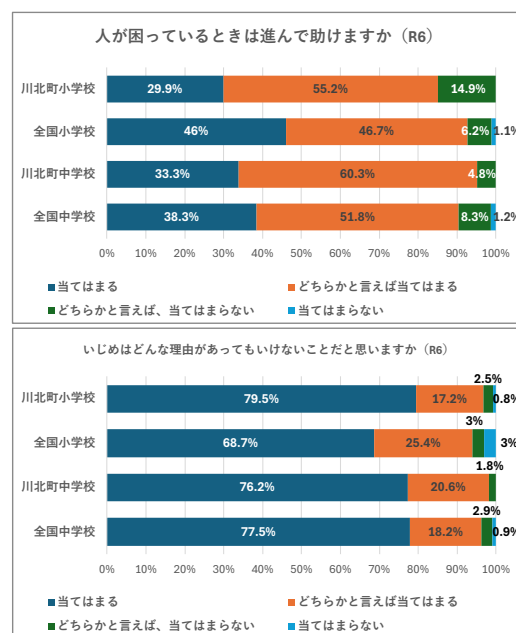
【評価及び課題】 評価 A

3-1-1 について

- 川北小学校での「いしかわ道徳」の研究発表会では、児童が自分事として考え、友達と考えを深め合う姿が見られるなど、研究の成果が見られる発表会となった。全体会における山田 教授の講話もまた、来校いただいた町内外の先生方にとって大変に貴重な機会となった。

3-1-2 について

- 今後も、学校の教育活動全般を通し、道徳教育活動を推進する。



3-1-3 について

- 小学校では運動会以外でも、数多くの縦割り活動が行われている。中学校では部活動が縦割り活動に当てはまる。その中で、社会性や協調性、リーダーシップとフォローワ

ーシップ等が育成された。

3-1-4 について

- 体験や交流活動は、教室の学びを深める実践的な経験となり、多様な価値観の理解、コミュニケーション能力の育成、創造力を養う等の機会となり、今後とも活動内容の充実を支援する。

3-2	いじめ・不登校等への取組の充実
1	積極的な生徒指導を生かし、いじめ・不登校等の未然防止を図る
2	校内の相談体制や支援体制を生かした指導体制の充実を図る。
3	町福祉課、児相や警察等、関係機関との連携を図る。

【R7 年度当初予算】

3-2-1, 2, 3

- ・ スクールカウンセラー配置 (4 校)
- ・ いじめ対応アドバイザー配置 (4 校)
- ・ 児童生徒支援加配 (川北中学校)
- ・ 学校教育アドバイザー(9.1.2)【再掲】

【R7 年度の状況】

3-2-1 について

- 「弁護士によるいじめ予防教室」 (川北小 6 年生、橘小 5, 6 年生、川北中学校)

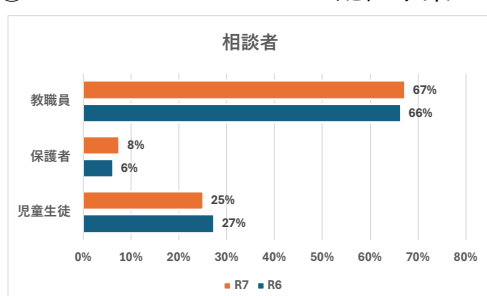
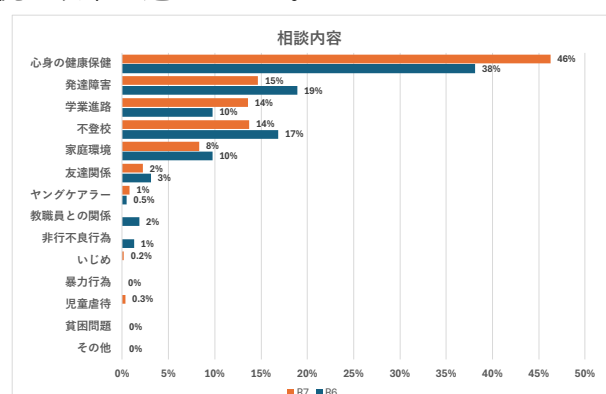
川北小学校では、実際に合ったいじめの具体的な例から、「いじめ」は「誰か」が広げてしまうことや、その誰かにならないように、自分にできることを考えた。また、自分や相手の視点の他に、「他の人からどう見られているか」という「誰か」と言う視点を持つ大切さについてのお話があった。



- いじめ対応アドバイザー 各学校に年 2 回来校し校内研修に参加した。その中で、事例研修や、未然防止の重要性、発見した場合の対応の手順等の指導を受けた。
- R7 年度 いじめの認知状況 13 件の報告があり、重大事案にあたる案件はなかった。
- R7 年度 不登校の状況 年間 30 日以上欠席があった児童、生徒は 13 名であった。

3-2-2 について

- スクールカウンセラー配置事業 相談状況は以下の通りである。



3-2-3 について

- 教育支援委員会へ福祉課より職員が参加し協議した。

【評価及び課題】 評価 A-

3-2-1 について

- いじめ対応アドバイザーによる事例研修は重要であり、次年度も継続する。
- いじめ防止のための積極的認知により、認知数は多くなった。一方、その対応に課題が感じられた事案もあった。
- 年間30日以上欠席がある児童生徒数は、年々増加傾向にある。相談室を設けたり、ネットを使った授業参加を工夫したりし、対応している。

3-2-2 について

- SCの面談対象者は、圧倒的に教員が多い。個々の児童生徒の課題に、丁寧に対応している学校の状況がある。
- SCの活用は、どの学校においても積極的である。年間の派遣時間が決められており、時間数増を県教育委員会へ要望したい。

3-3	たくましい心身を育む教育の推進
1	健康増進と体力、運動能力の向上に取り組む。
2	命の教育・性教育・薬物乱用防止教育、食育等の推進を図る。
3	地域の特色を生かした体験活動や交流活動の充実を図る。（手取川プラン）
4	読書活動の充実を図る。
5	全ての教育活動を通じ、子どもたちのウェルビーイングの向上を図る。

【R7年度当初予算】

- 3-3-1
 - ・中学校体育振興助成金(9.1.2)
 - ・中学校部活動大会輸送費(9.1.2)
- 3-3-2
 - ・中学校部活動指導員報酬(9.1.2) * 国・県補助 2/3
- 3-3-3
 - ・小中学校給食食材費(9.1.3)
- 3-3-4
 - ・手取川プラン実施費（青少年講座、いきいき体験教室）(9.4.2)【再掲】
 - ・学校図書費(9.2.2 9.3.2)
 - ・学校図書館管理システム保守委託料(9.1.2)
 - ・学校図書館司書報酬(9.2.1 9.3.1) * 3 小学校会計年度職員分

【R7年度の状況】

3-3-1 について

- 橘小学校でハニービー石川所属の選手4名が来校し、スポーツ教室が本校で行われた。



- 「スポチャレいしかわ」の取組（中島小） 『方向転換走』に取り組み、以下の結果となった。

1年生の部 5位 2年生の部 4位 3年生の部 1位 4年生の部 7位

- 小学校持久走大会 たくさんの地域の方々が、コースでの見守りや応援に駆けつけた。



- 中学校部活動（県体出場） バレーボール部、剣道部、陸上部、水泳競技
- 中学校部活動（全国大会出場） 陸上部 女子走高跳び

3-3-2 について

- 食育の授業 旬の食材や地場産物を利用した献立を作成した。



6月の食育週間には、川北産のタマネギを使った卵とじや豚汁、チャウダーが給食として出された。



- 薬物乱用防止教室の実施（川北小学校） 能美警察署員をお招きし、薬物のおそろしさや誘惑に負けないための方法などを学んだ。



- 非行被害防止講座の実施（橘小学校） 5・6年生児童と保護者を対象に、PTAの児童育成委員会と教養広報委員会の共催で「インターネットについてみんなで考えよう」と題してのお話を聞いた。



3-3-3 について * 5-1-1 に状況を掲載

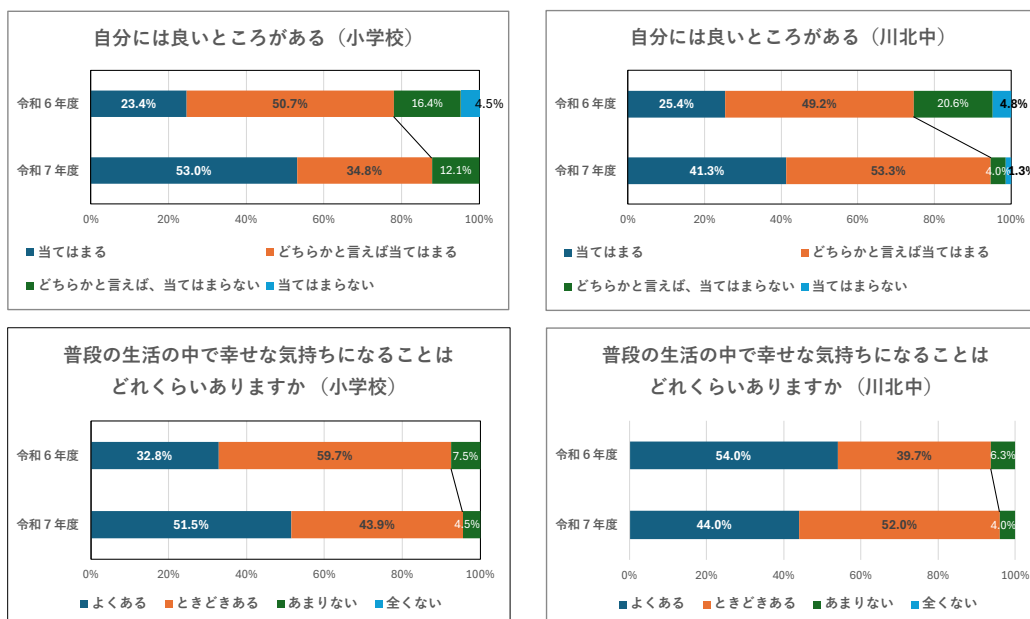
3-3-4 について

- 小中学校図書の電算化により、手続きが早くなり気軽に借りに来る児童が増え、10%～23%貸出冊数が増えた小学校もある。
- 読書活動を推進するために工夫していること。

中島小	<ul style="list-style-type: none"> ・システムを利用し、季節に合ったテーマの本を検索し、玄関・図書室内などに別置することで、児童が選びやすいようにしている。 ・年間の目標冊数（低学年）目標ページ数（高学年）を設定し、達成できた児童を多読賞として終業式などで表彰している。 ・図書ボランティアの方の朝の読み聞かせやお昼のおもしろ紙芝居などを行っている。 ・朝読書の時間を週2回設定している。読書週間の時には、毎日、朝読書をしている。 ・家庭読書として、毎月のいしかわ学校読書の日に合わせての取組をしている。 ・個人の読書量の可視化のために、全校児童の貸し出し冊数（低学年）や読んだページ数（高学年）が分かるように図書館に掲示している。 ・年間読書目標量に向けて本を読み進めると途中で景品がもらえる。（しおりや4冊かりられる券など） ・ブックウォークとして、6月、11月に種類、作者、シリーズ、冊数、ページ数など、自分で目標を決めて取り組んでいる。読書記録カードに読んだ本の記録を残していき、目標達成者は認定書を渡している。
川北小	<ul style="list-style-type: none"> ・100冊表彰を行っている。 ・30冊借りるごとに1枚しおりをプレゼントしている。 ・図書イベント（スタンプカード）の実施している。 ・図書室の飾りを子ども達と作っている。 ・季節の本・新刊の展示を行っている。 ・分かりやすく本を配置し、借りやすく、選びやすくしている。 ・図書ボランティアさんの読み聞かせで本に親しむ時間を確保している。
橘小	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が今何冊借りているか気になる児童が多いので、図書室のホワイトボードに名前と冊数を提示している。 ・冊数を増やしたい子は毎日頑張って通っている。 ・年度末に、図書の貸し出し冊数が多い上位3名を各クラスから表彰することになっている。 ・貸出冊数ごとに特典をつけている。（30冊：折り紙しおり 50冊：3冊券 80冊：ミニしおり 100冊：4冊券）
川北中	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとの特設コーナーを設置し、本と出会いやすい環境を整備している。 ・本の表紙が見えるよう配置するなど、興味をひきやすいレイアウトを工夫している。 ・新刊紹介では、掲示板に簡潔な内容を添えて掲示し、図書だよりでも情報を発信している。 ・委員会活動で、教職員や生徒など身近な人によるおすすめ図書を紹介し、読書の関心が高まるようにしている。

3-3-5 について

○ 全国学力調査・学習状況調査より



【評価及び課題】 評価 B⁺

3-3-1 について

- 小学校では、毎年持久走大会が開催され、沿道には多くの地域の方々が、見守りと応援に駆けつける。持久走大会や夏場のプールの監視には、学校運営協議会を通じて依頼された地域の方々の協力し、安全面から体力向上に貢献していただいた。

3-3-2 について

- 川北中学校 中尾 栄養教諭に食育の授業や、授業を通して地元の食材を生かした献立を作成した。学校給食のメニューになり、児童生徒の関心が高まった。
- 県の事業であり毎年実施される薬物乱用防止教室や非行被害防止講座の開催は、小さい頃から学び、意識を高める機会として、その意義は大きい。

3-3-4 について

- 図書の電算化や読書活動を推進した結果、貸出数が増えた学校もある。読書離れが、年齢が上がるにつれ進む傾向にあり、ネット依存と同時に取り組む必要がある。

3-3-5 について

- 「普段の生活の中で幸せな気持ちを感じることは」の肯定的な回答が昨年を上回るとともに、小学校6年生、中学校3年生で90%を超えた。家庭や学校での生活の中に安定や安心した気持ちを感じ、満たされた気持ちを感じる児童生徒が多い。
また、「自分には良いところがある」と肯定的な回答した児童生徒も昨年度を大幅に上回り95%を超えた。

基本目標4	社会の進展に対応した、信頼され魅力ある学校づくりをめざす
-------	------------------------------

川北町総合戦略

施策Ⅰ—④ 地域の力による子育ての充実
「地域活動と家庭教育の充実」
「安全で安心な教育環境の整備と充実」
「明日の子どもを育てる町民会議(CS 推進協議会)の充実」
「世代交流活動の促進」
「社会環境浄化・非行防止活動の推進」

施策Ⅳ—① 安全・安心なまちづくり
「地域交通安全・防犯活動の充実」

4-1	教職員研修の充実
1	キャリアステージに応じた資質・能力を高める研修の充実を図る。
2	ICT を活用した指導力の向上を図る。
3	小中を連携した研修を充実させ、授業改善や情報の共有を図る。

【R7 年度当初予算】

4-1-1, 3

- ・町学校教育研究会助成(9.1.2)
- ・町学力調査に係る調査業務委託料(9.1.2)
- ・町学校教職員指導研修費助成金(9.1.2)
- ・職員研修会負担金(9.1.2)

4-1-2

- ・小中学校 ICT 活動支援授業委託料(9.1.2)

【R7 年度の状況】

4-1-1 について

- 各校において研究主題を設定し、学校研究を推進した。

学校	研究主題
川北小 (めざす姿)	主体的に学び、深め合い、自己を見つめ直す子の育成 ～自分事として捉え、対話を通して学びを深める道徳の授業づくりを通して～ ・[主体的に学ぶ子] 自分の考えをもっている。自分の考えを友達に伝えようとしている。自分事として考えている。 ・[自分の考えを深める子]「聞く」ことを大切に、友達同士で認め合っている。対話を通して、多面的・多角的に考えている。深め合うことを楽しいと感じている。 ・[自己を見つめ直す子]自分のよさや弱さを自覚している。自分をふり返って考えている。自分への気づきから行動につなげようとしている。
橘小 (めざす姿)	「自ら学び、考え、ともに高め合う子の育成」 ～国語科を中心に～ ・問いをもちどんどん学びたくなっていく姿 ・あれこれ考えたり試したりする姿 ・みんなでよりよく解決に向かう姿
中島小 (めざす姿)	主体的に学び続ける子どもの育成 ～教師の見取りと支援の充実による授業づくり～ ・主体的な学習者として見方・考え方を働かせながら個別と協働による課題解決できる姿 ・図・式・言葉を行き来しつつ根拠を示して表現する姿
川北中 (めざす姿)	自ら伝えてつなげる学びへ —「深い学び」につながる生徒主体の授業をめざして— ・自ら学びに向かい、粘り強く課題を解決しようとする生徒 ・どのように学びを進めるか自ら考え、決定し実行する生徒 ・同じ考えも異なる考えも受けとめ、自己の考えを広げ深める生徒

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、伝え合い、自分たちの言葉で授業をつないでいく生徒 ・自分も相手も大切にする生徒
--	--

○ 研究指定校

学校	指定研究
川北小	「いしかわ道徳教育推進事業」(R7)

○ 川北町学校教育研究会

国語、算数・数学、理科、社会、体育・音楽・図工、特別支援教育の7つの教科推進協議会と中学校研究会、教育課程、生徒指導、道徳、ICT活用の4つの専門部会がある。全体研修会を開催(8月8日)し、東京学芸大学教職員大学院准教授 増田 謙太郎 氏に、演題を「学びのユニバーサルデザインと個別最適な学び」として講演いただいた。

【評価及び課題】 評価 A

4-1-1 について

- 川北小学校の「いしかわ道徳教育推進事業」の発表会が行われ、どの公開授業も、子どもたちが話し合い、考えを深め、学ぶ意欲が感じられるものであった。この一年間での児童の変容は、学校全体の教育力の向上の成果であると考え、町内の学校への波及効果も期待したい。

4-1-2 について

- 電子黒板の利用頻度は高く、映像や動画の視聴、また意見の集約などに使われている。一方、端末については「使い慣れる」時期を過ぎ、より効果的な場面で利用しようとする意識が広がっているように感じる。

4-1-3 について

- 各校の計画訪問などを利用し、公開、研究授業の参観(オープン・スクール事業)を進めているが、参観できる体制を工夫するなどの課題がある。

4-2	地域に開かれた学校運営の推進
1	コミュニティ・スクール(CS)の活動を推進する。
2	明日の子どもを育てる町民会議 並びに CS 推進協議会による地域学校協働活動を推進する。

【R7年度当初予算】

4-2-1, 2

- ・明日の子どもを育てる町民会議委員(CS推進協議委員)謝金(9.4.2)
- *手取川プラン策定委員謝金(9.4.2)、地域部活動推進協議会負担金(9.5.1)はCS推進協議会謝金に含む
- ・「かわきたっ子」印刷製本費(9.4.2)

【R7年度の状況】

4-2-1 について

- 各校の特色ある取組

- (中島小) 中島マルシェ、ファミリーボランティア
 (川北小) 算数ボランティア、地域ふれあいラジオ体操、学校ボランティア感謝の会
 (橘小) 算数ボランティア、プールの見守り
 (川北中) 家庭科ボランティア、職場体験企業への依頼

○ 令和7年度 CS 推進協議会

第一回（5月29日）	<ul style="list-style-type: none"> ・CS ディレクター並びに CS 委員の委嘱について ・町 CS 推進協議会組織について ・町 CS 構想について ・青少年講座等について ・報酬などの支払いについて
第二回（3月19日）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 各校における取組（成果と課題） ・令和8年度 各校における取組（計画） ・手取川プランについて ・部活動地域展開について（拡大 CS 推進委員会）

- かわきたっ子の発刊 従来の内容に加え、
 コミュニティ・スクールについても掲載
 した。

【評価及び課題】 評価 B+

4-2-1 について

- 中学校にも学校運営協議会が設置され、町
 CS 推進協議会において小学校での取組状
 況を共有し、早速、家庭科の授業サポート
 に協力していただいた。



4-2-2 について

- 従来から地域の協力を得て、様々な行事が行われており、無理をせず自然な形で、学校
 運営協議会が定着している。小学校では、お世話になった地域の方々への感謝の会も行
 われた。
 ○「かわきたの明日の子どもを育てる町民会議」の組織を見直したが、町 CS 推進協議会と
 社会教育委員会との連携は進まず、今後にむけての課題である。

4-3	安全で安心な教育環境の整備と充実
1	学校施設の整備と学校安全の推進を図る。
2	ICT 環境の継続的な整備と充実を図る。
3	地域と協力した安全な環境づくりに努める。
4	教職員の多忙化改善の推進を図る。
5	家庭教育への支援の充実を図る。

【R7 年度当初予算】

4-3-1

- ・修繕費（小・中学校 一般修繕含）(9.2.1 9.3.1)
- ・修繕費（小・中学校 給食関係分）(9.1.3)
- ・学校図書館管理システム保守委託料(9.1.2)
- ・中島・橘小学校体育館設備及びバリアフリー化改修工事(9.2.1)
- ・給食食材費（9.1.3）
- ・給食用 1 等米利用補助金(9.1.3)
- ・日本スポーツ振興センター負担金（9.2.2 9.3.2）
- ・教職員検診委託料（9.1.2）
- ・細菌調査・食材検査手数料等（9.1.3）
- ・校医等報酬（9.2.1）

4-3-2

- ・学校遊具点検委託料（小学校）(9.1.2)
- ・学校警備システム委託料（橘小、川北中）(9.2.1) (9.3.1)
- ・情報通信機器修繕費(9.1.2)
- ・情報通信機器購入費(9.1.2)
- ・情報通信機器年次更新委託料(9.1.2)
- ・GIGA スクールサポーター委託料(9.1.2)
- ・GIGA スクール構想ネットワーク保守委託料(9.1.2)

4-3-3

- ・町学校安全対策推進事業助成金(9.1.2)

4-3-4

- ・校務支援システム委託料（小・中学校）(9.1.2)

4-3-5

- ・デジタル採点システムライセンス使用料（中学校）(9.3.1)
- ・すこやか家庭教育学級（小学校）(9.4.2)
- ・PTA 家庭教育講演会（教育講演会）(9.4.2)

【R7 年度の状況】

4-3-1 について

- 指定避難所となっている中島小学校、橘小学校の体育館空調設備及びバリアフリー化改修工事が完了した。（令和 8 年度 第二町民体育館、川北中講堂の工事予定）



- 寺井警察署、町内派出所の協力を得て行った交通安全教室や防犯教室



4-3-2、4 について

- 校務の DX 化（C4th、Line、図書電算化）に取り組み、現状になじんだ形で利用が推進され定着している。令和 7 年度は、校務用パソコンが更新された。

4-3-5 について

- 学校教育アドバイザーによる「すこやか家庭教育学級」を 3 小学校の新入生保護者対象に行った。
- 令和 7 年度 石川県 PTA 連合会 地区別研究指定発表会 川北大会が、9 月 27 日に川北町文化センターにおいて開催された。本町における実践発表が行われた後、松本紀生氏による「大自然がおしえてくれたこと」と題した記念講演会が開催された。

実践発表 川北中学校「行きたい学校・帰りたい家庭をめざして創り上げていく PTA
活動 ～コミュニケーションで活性化～」
中島小学校「親子の笑顔あふれる育友会活動 ～やってみよう 親が楽し
めれば子供も楽しむ～」

* 松本紀生氏の講演会は、町 PTA 連合会 教育講演会を兼ねて行われた。

【評価及び課題】 評価 A

4-3-2 について

- 令和 7 年度には校務用パソコンが更新され、令和 8 年度には学習用パソコンが更新を迎えるが、今後、次期統合型校務支援システムの導入に向け、その動向を注視したい。

4-3-3 について

- 見守り隊による活動は、児童の登下校時の安全確保に大きく貢献している。各小学校では、地域の先生とともに隊員への感謝会を行っている。一方、どの地区も見守り隊の後継者の課題がある。

4-3-4 について

- 各校の時間外勤務の状況
概ね、各校の時間外勤務の状況は改善されてきている。部活動の地域展開に伴い、教員の兼職兼業についても、今後は課題となる。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
小学校 年間の時間 外勤務の平均	31 時間 48 分	29 時間 17 分	25 時間 00 分	27 時間 46 分
中学校 年間の時間 外勤務の平均	64 時間 25 分	53 時間 18 分	41 時間 22 分	41 時間 40 分

* 校長、教頭、教諭、再任用教諭、講師、栄養教諭、養護教諭、事務職員の時間集計

* R 7 年度 県内小中学校の時間外勤務の平均 () は R6 年度

小学校：32 時間 54 分 (33 時間 42 分) 中学校：42 時間 24 分 (44 時間 42 分)

* 2029 年度までに時間外勤務を月平均 30 時間程度とすることを目標に掲げている

4-3-5 について

- 「すこやか家庭教育学級」や「町 P 連教育講演会」は、今後も家庭教育、地域ぐるみの教育を推進が目的となるよう内容を吟味し開催する。

基本目標5	生涯学習体制の確立と社会教育の推進をめざす
--------------	------------------------------

〔	施策Ⅰ—④ 地域の力による子育ての充実 「世代交流活動の促進」	〕
〔	施策Ⅱ—① 地域コミュニティ創出 「公民館行事等の充実」 「公民館施設の利活用の促進」	〕
〔	施策Ⅱ—④ 生涯学習の推進 「多様なニーズに即した講座の開設」 「社会教育緒団体の活動推進」 「図書館活動・利用促進と機能充実」 「生涯学習メニュー等の情報発信」	〕

5-1	社会教育の推進と充実
1	各種講座、学級等の開設と内容の充実に努める。
2	自治公民館活動や社会教育団体の活動の支援と充実を図る。
3	スポーツ協会や文化団体、自主サークル活動等の支援と充実を図る。
4	学習等共用施設、文化センター、町図書館等の社会教育施設の効果的な活用を図る。
5	明日の子どもを育てる町民会議 及び CS 推進協議会と連携を図り、体験・交流活動の充実を図る。

【R7 年度当初予算】

5-1-1	<ul style="list-style-type: none"> ・手取川プラン実施費（青少年講座、いきいき体験教室）（9.4.2）【再掲】 ・町民教養講座（講師等謝金等）（9.4.2） ・樺光学級（講師等謝金等）（9.4.2） ・文化講演会（9.4.2） ・日本語教室活動費（9.4.1） ・PTA 家庭教育講演会（教育講演会）（9.4.2）【再掲】 ・すこやか家庭教育学級（9.4.2）【再掲】
5-1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動助成金（9.4.2）【再掲】 ・子ども会育成活動、小学校野外活動助成金（9.4.2）【再掲】 ・町 PTA 連合会助成金（9.1.2） ・町男女共同参画審議会報酬／講師謝礼（9.4.2） ・町女性協議会助成金（9.4.2） ・町壮年団連合会助成金（9.4.2） ・生涯学習ボランティア活動助成金（くわの実の会、虹のかけはし）（9.4.2） ・ボーイスカウト助成金（9.4.2）
5-1-3	<ul style="list-style-type: none"> ・町スポーツ協会助成金／各種大会助成金／県民スポーツ大会助成金（9.5.1） ・町文化協会助成金／文化協会発表会助成金（9.4.2） ・町内サークル活動費（9.4.2） ・生涯スポーツ振興事業指導者謝金（ジュニア）（9.5.1） ・スポーツ文化情報案内印刷製本費（9.4.2） ・現代美術展能美展開催負担金（9.4.2） ・川北町文化賞費（9.4.2）
5-1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・二十歳のつどい（9.4.2） ・町文化祭（9.4.2） ・ガルガンチュア音楽祭負担金（9.4.2） ・町書き初め大会（9.4.2） ・立志式（9.4.2） ・図書購入費（9.4.4） ・図書館管理システム利用料（9.4.4） ・なでしこ広場講師謝金（9.4.4） ・子ども読書活動推進事業講師謝金等（9.4.4）
5-1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・手取川プラン実施費（青少年講座、いきいき体験教室）（9.4.2）【再掲】

【R7年度の状況】

5-1-1について

○ 青少年講座

バウンドテニス教室や将棋教室を開講した。

(前期) 12講座 117名参加 (小学生115名
中学生2名) *R6:121名参加

おしゃれ手作り教室:11名 クッキング教室:22名

ソフトボール教室:2名 トランポリン教室:17名

なぎなた教室:3名 将棋教室:13名 手芸教室:5名

楽しい科学実験教室:15名 手取亢龍太鼓教室:7名

卓球教室:10名 茶道教室:6名 バウンドテニス教室:6名



将棋教室



バウンドテニス教室

(後期) 13講座 110名参加 (小学生104名 中学生6名) *R6:107名参加

おしゃれ手作り教室:6名 クッキング教室:21名

ソフトボール教室:6名 トランポリン教室:11名

なぎなた教室:11名 楽しいお琴教室:2名

楽しい科学実験教室:15名 手取亢龍太鼓教室:3名

卓球教室:5名 茶道教室:6名 将棋教室:10名

手芸教室:7名 バウンドテニス教室:7名



クッキング教室

○ 手取川いきいき体験教室 7講座 205名参加 (保護者102名)

*R6:5講座 143名参加 (保護者60名)

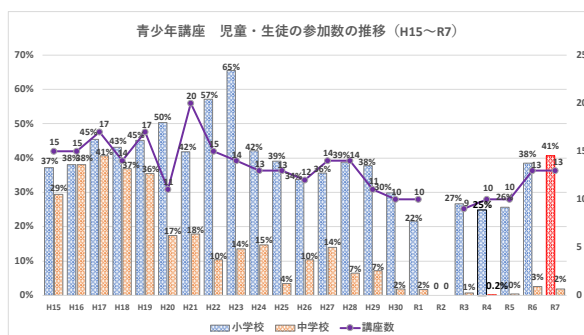
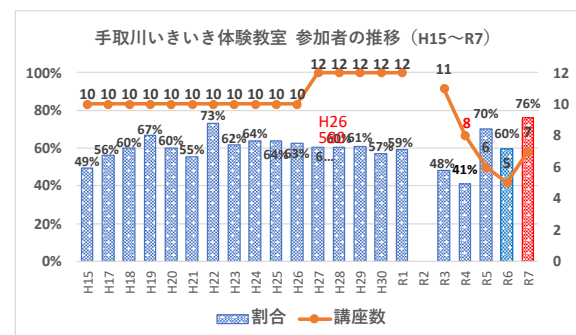
青少年講座でも人気があった調理教室を新たに開設したり、エコクラフト教室を復活したりしたため、昨年度と比較し参加者が4割ほど増えた。

かわきた探検教室:10名 (保護者3名) 化石はかせになろう:14名 (保護者3名)

昆虫ウォッチ:33名 (保護者4名) 水中生物を観察しよう:22名 (保護者21名)

エコクラフト教室:26名 (保護者3名) おかし作り教室:36名 (保護者4名)

星空を観察しよう:64名 (保護者64名)



* グラフに示された%はともに対象となる小中学生全体に対する割合

○ 教養講座

講座の内容や受講回数の工夫、また受講者が参加しやすい環境づくりに努めた結果、昨年度と比較し4割ほど受講者が増えた。

(前期) 7 講座 99 名参加 *R6 :5 講座 74 名
 親子トランポリン (全 5 回) : 12 名 (子ども 18 名)
 大人のための「絵本の魅力」講座 : 7 名 みんなで絵本時間 : 4 名 (子ども 6 名)
 アイシングクッキー教室 (2 回) : 9 名 (子ども 10 名)
 布花パンジーのコサージュづくり教室 : 2 名 ブリービクス講座 : 16 名
 現代螺鈿細工アクセサリ教室 : 3 名 日本のお茶講座 : 7 名
 レンジアアクセサリ教室 : 3 名 (子ども 2 名)



アイシングクッキー教室

(後期) 7 講座 115 名参加 *R6 :7 講座 82 名
 やさしいヨガ講座 (全 5 回) : 23 名
 かんたん薬膳料理教室 (全 3 回) : 13 名
 はじめてのウクレレ講座 (全 6 回) : 12 名
 リボン刺繍教室 (全 2 回) : 8 名
 英語であそぼう!! (全 3 回) : 4 名 (子ども 4 名)
 親子モザイクランタン教室 (1 回) : 23 名
 手づくりパン教室 (全 2 回) : 28 名



現代螺鈿細工アクセサリ教室

○ 櫻光学級

「教養」「生き方」「生活」「健康」の分野で内容を検討し実施した。
 昨年度と比較し参加者は 3 割ほど増えた。

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 第 1 回「心豊かにより充実した人生をおくるには」 | 参加者 30 名 |
| 講師：元北陸放送アナウンサー 竹内 泰子 氏 | |
| 第 2 回「自然愛すべし 畏るべし 昭和 9 年手取川水害から 91 年」 | 参加者 42 名 |
| 講師：川北町教育委員会 学校教育アドバイザー 竹本 良成 氏 | |
| 第 3 回「人生会議 ～その人らしく生きるために～」 | 参加者 29 名 |
| 講師：公立松任病院 看護部 副部長 村井 あずさ 氏 | |
| 第 4 回「交通安全教室」 | 参加者 29 名 |
| 講師：石川県警察本部 交通安全課 米尾 香織 氏 | |
| 石川県生活環境部 生活安全課 北本 希美 氏 | |
| 第 5 回「健康バランスボール」 | 参加者 13 名 |
| 講師：バランスボール インストラクター 剣村 紗和子 氏 | |
| 第 6 回「登録文化財 多川家を訪ねて」 | 参加者 30 名 |
| 講師：多川家館長 多川 茂規 氏 | |
| 第 7 回「能登牛の現状について」 | 参加者 15 名 |
| 講師：石川県農林水産部 畜産振興・防疫対策課 小橋川 寛 氏 | |
| 第 8 回「健康と音楽」 | 参加者 47 名 |
| 講師：かどや音楽教室 角谷 晋平 氏 | |

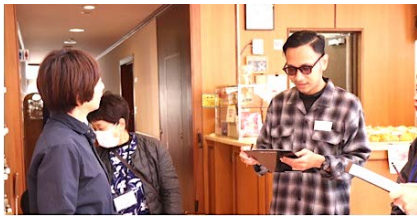
計 参加者 235 名 *R6 184 名

○ なでしこ日本語ひろば

- 第1回 (5/24) モルック体験やテキストを使った学習
 第2回 (6/28) テキスト「すみません、よくわかりません」
 第3回 (7/26) テキスト「よろしくお願いします」 ※鮎のつかみ取りにも参加
 第4回 (8/30) ベトナム料理の昼食会で会話を楽しもう
 第5回 (9/27) テキスト「東京に住んでいます」
 第6回 (10/25) テキスト「うどんが好きです」 アイスブレイク「バン抜き」
 第7回 (11/22) 役場周辺施設へのウォークラリー
 第8回 (12/20) テキスト「チーズバーガーください」 アイスブレイク「風船バレー」
 第9回 (1/24) 書道体験
 第10回 (2/28) テキスト「部屋が4つあります」 アイスブレイク「神経衰弱」

参加 外国人	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	7人	3人	3人	1人	2人	2人	2人	2人	2人	2人

運営をお手伝いしてくれるサポーターが4名となり、サポーター養成講座を6回開講した。



5-1-2 について

- 女性協議会 川北町女性協議会の存続について、区長会で現状の報告や今後の改善策についてアンケートを依頼した。アンケート結果からは、存続の方向性を見出すことはできず、その後の総会で連合の解散が可決された。

* 川北町女性協議会は昭和27年発足、73年間の活動。

- 男女共同参画審議会
 ・アンケート・チラシの配布実施 ・キャンプ飯教室を開催し10名の参加
 ○ 図書館協議会 ・蔵書、来館者、貸出数等の報告 ・その他、事業報告
 ○ 文化財保護審議会 新たな指定文化財候補について協議を行った。木呂場地区内にある「明治天皇御子休所」については継続審議となった。

5-1-3 について

- スポーツ協会について 単位協会数：17 準協会数：2
 ・県スポーツ大会（夏季大会） なぎなた競技 演技 団体4位、試合 団体5位
 演技 個人3位
 市町総合 男子18位、女子15位
 ○ 文化団体、町内サークルについて 文化団体数：17 活動サークル数：10
 ・文化祭展示、文化センター等の通常展示
 ○ 川北町賞 文化活動奨励賞：中村 陽一 氏、山本 真弓 氏
 * 川北町スポーツ賞 6-2-1 に掲載

5-1-4 について

- 二十歳のつどい
対象者 男子51名 女子40名 計91名
- 立志式 対象者 川北中学校2年生 65名
講師：高鍬 仁一（川北中学校 OB）
- 町書き初め大会 参加者 77名
- ガルガンチュア音楽祭 来場者 約100名
- 学習等供用施設利用状況



ガルガンチュア音楽祭

	4月		5月		6月		7月	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
東部学供	12	124	13	106	15	239	13	264
西部学供	14	193	12	131	15	163	13	187

	8月		9月		10月		11月	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
東部学供	11	167	13	246	7	178	5	73
西部学供	10	203	12	166	11	263	14	183

	12月		1月		2月		3月	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件	利用者数	件	利用者数
東部学供	7	155	8	136	14	223	9	172
西部学供	11	132	12	327	8	109	13	152

○ 文化センター利用状況

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
58	716	72	896	78	1,177	70	1,600	48	845	72	1,025

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
73	910	73	2,809	65	735	37	1,297	62	1,257	86	1,389

○ 町立図書館の実績等

- ・蔵書冊数 総冊数 72,634冊（R6比：590冊増）
- ・登録者数 1,958人（R6比：214人増）
- ・開館日数 301日（R6比：増減なし）
- ・貸出者数 8,556人（R6比：47人減）
- ・貸出冊数 29,709冊（R6比：140冊増）
- ・1日平均貸出者数 29.3人（R6比：0.8人増）
- ・1日平均貸出冊数 101.4冊（R6比：3.2冊増）

【評価及び課題】 評価 A

5-1-1 について

- 各種講座については、内容や開催回数等を工夫改善し取り組んだ結果、参加者が増加した。
- 「なでしこ日本語ひろば」の参加人数は大きく増えてはいないが、繰り返し受講する方もおり、定着に向けた足がかりとなることが期待される。

5-1-2 について

- 町女性協議会が解散し、女性協議会会長が充て職となっていた枠をどうするかが課題である。

5-1-3 について

- 団体数の減少はないが、会員の確保が大きな課題である。

基本目標6	町民一人ひとりのスポーツの日常化と健康増進をめざす
--------------	----------------------------------

〔 施策Ⅰ—④ 地域の力による子育ての充実
「世代交流活動の促進」 〕

〔 施策Ⅱ—⑤ 生涯スポーツの推進
「町民のスポーツ及び健康づくり活動の推進」
「町民体育大会等、町民主導スポーツイベントの開催」
「スポーツ推進委員のスキルアップ」
「健康スポーツ・カウンセリングの検討」
「競技スポーツの活動支援、競技力の向上」 〕

6-1	スポーツ及び健康づくり活動の推進
1	川北町健康づくり推進条例の推進と町民参加の行事の充実に努める。
2	スポーツ推進委員による生涯スポーツの振興を図る。

【R7年度当初予算】

- | | |
|-------|---|
| 6-1-1 | <ul style="list-style-type: none"> ・町民体力テスト指導者謝金(9.5.1) ・川北サンスポ大会(9.5.1) ・町民ウォーキング大会(9.5.1) ・区民運動会開催助成及び区民スポーツ大会開催助成(9.5.1) |
| 6-1-2 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ文化情報案内【再掲】(9.4.2) ・スポーツ推進委員報酬(11名)(9.5.1) ・スポーツ推進委員研修費(北陸、全国)(9.5.1) |

【R7年度の状況】

6-1-1 について

- 川北サンスポ大会 10月5日(日)に予定した川北サンスポ大会は、残念ながら雨

天が予想され中止とした。

- 町民ウォーキング大会 6月8日
(日) サンフィールド川北を発着とし、84チーム、321名が参加し、手取川堤防上を東、西コース(各5km)に分かれ実施された。



6-1-2 について

- スポーツ推進委員が参加し、運営協力などをした行事
 - ・ 春のスポーツチャレンジ (モルック)
 - ・ 町民ウォーキング大会
 - ・ 川北サンスポ大会 (中止)
 - ・ 体力・運動能力テスト



【評価及び課題】 評価 B⁺

6-1-1 について

- 川北サンスポ大会は雨が予想され中止となった。昼食のキャンセルが難しくなっていることもあり、金曜日に協議し中止を判断した。
- 町民ウォーキング大会は3回目の実施となった。今年度もサンフィールド川北を発着とするコースで行った。新しいコースの検討などの課題はあるが、目的は達成しているように思える。

6-1-2 について

- 研修を生かしてニュー・スポーツの紹介や、青少年講座や教養講座、櫛光学級での講師としての活動の場面も検討する。

6-2	スポーツ団体の活動の推進
1	町スポーツ協会やジュニアスポーツクラブの活動を支援し、競技力の向上や指導者の育成を図る。
2	部活動の地域移行に向けたスポーツ環境の整備と機会の確保に努める。

【R7年度当初予算】

6-2-1

- ・ 町スポーツ協会助成金／各種大会助成金／県民スポーツ大会助成金(9.5.1)
- ・ 生涯スポーツ振興事業指導者謝金 (ジュニア) (9.5.1) 【再掲】
- ・ 草深甚四郎慰霊剣道大会助成金(9.5.1)
- ・ ジュニアなぎなた川北杯選手権大会費(9.5.1)
- ・ 青少年活動連絡協議会委員謝金(9.5.1)
- ・ スポーツ賞費(9.5.1)
- ・ 全国大会選手派遣費 (祈健闘) (9.5.1)
- ・ 懸垂幕(9.5.1)

6-2-2

- ・ 地域部活動推進協議会負担金(9.5.1)

【R7年度の状況】

6-2-1 について

○ 全国大会出場者

・第43回全日本バウンドテニス選手権大会	シングルの シングルの ダブルスの ダブルスの	原田 光夫 中田 渉 岡 敬太 中田香菜子
・アジア学生カポエラチャンピオンシップ	カテゴリーC	村上 蘭夏
・第31回オープントーナメントグラウンドチャンピオン決定戦	空手	三木 友竣
・第52回全日本中学校陸上競技選手権大会	走高跳	池田 菜穂
・令和7年度全国高等学校総合体育大会 陸上競技	砲丸投	門田 育知
・令和7年度全国高等学校総合体育大会 陸上競技	三段跳	早瀬 圭
・令和7年度全国高等学校総合体育大会 登山競技		小竹 凜蔵
・MIZUNO BASEBALL DREAM CUP IN Tournament2025		学童野球クラブ
・第40回日本クラブユースサッカー選手権大会		中西 海音 西田聡一郎
・第53回日本リトルシニア日本選手権大会		奈良崎英仁
・第19回全日本野球選手権大会ジャイアンツカップ		奈良崎英仁
・第45回全日本バレーボール小学生大会		平 青蛸
・第70回全日本実業団ソフトテニス選手権大会		水野 裕太
・第79回国民スポーツ大会 陸上競技 三段跳		早瀬 圭
	ボーリング競技	市田 彩華
	バウンドテニス競技	岡 敬太 中田 渉 中田加菜子
・第28回ヤングクラブバレーボール		吉田 彩華
・第39回都道府県対抗中学バレーボール大会		乾 那帆
・第76回全国高等学校駅伝競走大会		金田 隼輝

- 川北町スポーツ賞 平 青蛸（バレーボール）、西田 聡一郎（サッカー）、
中西 海音（サッカー）、池田 菜穂（陸上）、
奈良崎 英仁（野球）、小竹 凜蔵（登山）、
早瀬 圭（陸上）、小竹 真太郎（野球）

6-2-2 について

○ 中学校部活動の現状 * 合計の()は R6 年比

令和 7 年度 中学校部活動への加入状況 (加入率 79.9%)													
競技名	性	1年	2年	1・2年	3年	合計	競技名	性	1年	2年	1・2年	3年	合計
陸上	男	14	9	23	12	35(+1)	剣道	男	3	3	6	2	8(+1)
	女	3	4	7	8	15(-3)		女	0	3	3	8	11(-3)
野球	男	4	4	8	5	13(+5)	技術家庭	男	5	1	6	0	6(+3)
ソフトボール	女	2	5	7	3	10(-4)		女	9	10	19	8	27(+5)
バスケットボール	男	6	7	13	12	25(-2)							
バレーボール	女	5	5	10	7	17(+1)							
令和 7 年度 社会クラブ活動への加入状況 (加入率 20.1%)													
競技名	性	1年	2年	1・2年	3年	合計	競技名	性	1年	2年	1・2年	3年	合計
サッカー	男	3	6	9	6	15(-1)	卓球	男	1	1	2	2	4(-4)
硬式野球	男	1	3	4	1	5(-1)	水泳	男	3	0	3	0	3(+3)
テニス	男	0	0	0	0	0(0)	その他	男	0	3	3	0	3(+1)
	女	5	1	6	2	8(+8)		女	5	1	6	2	8(+4)

○ 地域展開の進捗 女子バレーボール部が、4月より VC 川北として地域展開する。
地域展開にむけた補助の申請や要項を整備し、準備を進めた。

【評価及び課題】 評価 B+

6-2-1 について

- 全国大会等、上位大会へ出場した選手のこれまでの努力に敬意を表するとともに、町民の競技への関心、普及など、単協、ジュニアへの波及にも期待したい。

6-2-2 について

- 女子ソフトボール部、野球部は現在、能美市中学校との合同チームとして活動を行っている。これらの地域展開に向けては、町内の単協の理解と協力をいただきながら、今後、能美市と協議を進める必要がある。
- 女子バレーボール部が VC 川北へと地域展開されるが、中学校も含め連携を密にし、様々な課題を共有し、町として運営を支えていく。
- 現在部活動指導員は、バスケットボール部、陸上部、バレーボール部、ソフトボール部に配置されている。令和 8 年度より、剣道部にも部活動指導員を配置する。

6-3	スポーツ諸施設の整備と開放
1	学校体育施設や社会体育施設の利用促進を図るとともに、適正な管理を図る。

【R7 年度当初予算】

6-3-1

- ・ 体育施設管理人給与・報酬(9.5.2)
- ・ 体育施設修繕費(9.5.2)
- ・ 体育館備品(9.5.2)
- ・ サンフィールド川北遊具設計業務委託料・整備工事(9.5.2)

【R7年度の状況】

6-3-1について

- 川北サンスポ大会は雨天中止となったが、予定していたアトラクションを総合体育館において実施し、たくさんの町民が訪れた。



- 各種体育施設の利用状況
- 各種体育施設の利用状況

総合体育館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	108	125	120	106	81	96	114	103	134	135	123	128	1,373
人数	2,354	2,648	2,415	2,826	1,615	2,355	3,565	4,687	2,598	2,288	2,303	2,303	32,125

* R6 1,394件 31,433人

サンアリーナ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	93	96	87	81	90	98	110	122	133	154	166	101	1,331
人数	1,209	1,192	1,093	826	929	1,433	1,217	1,580	2,094	1,788	1,780	1,625	16,766

* R6 1,407件 22,079人

武道館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	31	30	33	36	20	32	37	38	38	30	34	34	393
人数	309	292	373	407	182	351	399	577	531	573	471	427	4,892

* R6 398件 5,497人

サンフィールド川北

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2,115	3,492	2,194	2,684	2,489	2,186	1,700	1,381	121	49	128	1,222	19,761

* R6 9,481人

【評価及び課題】 評価 B+

6-3-1について

- 令和7年度には町民からの要望が多かった新たな大型遊具をサンフィールド川北に設置した。
- サンフィールド川北の芝の維持管理については、令和7年度の状況を鑑み、適正な管理を行う必要がある。



5 学識経験者からの意見

施策の方針 番号	ご意見等
1-1-1 2-2 全般	<p>・「ふるさとに対する誇りと愛情の醸成」については、更に学校で進めていきたい。教員がもっと意識を高め、素材を積極的に見つけることが必要と思われる。総合的な学習の時間において、調べて知って終わりではなく、地域の良さや新たな魅力を子ども達が発信したり、創造したりする探究活動ができると良い。</p>
3-1-4	<p>・スクールシアターの開催や各校への「町の先生」「特色ある学校づくり」への助成金は、児童の体験格差が問題となる中、本物に触れ、実感や感動を味わい豊かな心の醸成にとっても役立っている。今後も、児童に様々な体験を通して、喜びや感動を味わわせたい。</p>